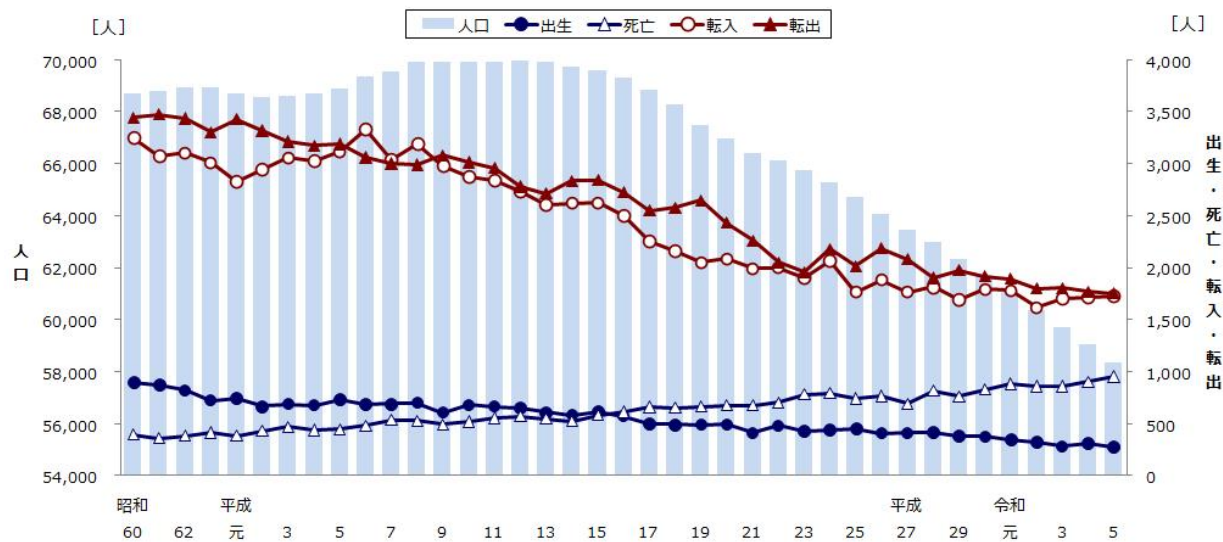


十和田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和7年改訂案）の概要

1. これまでの人口の推移

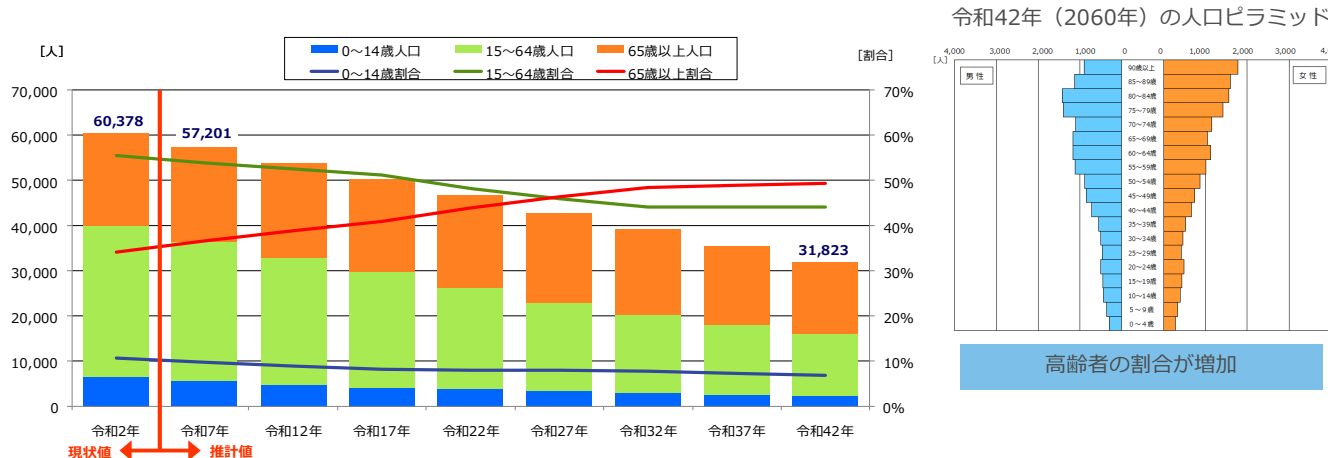
- 出生数の減少による「**自然減**」と、若者の市外への転出による「**社会減**」の両方が進行し、平成12年をピークに人口は減少している。



【出典】十和田市住民基本台帳（平成16年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの）

2. 将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所推計（R5年）に準拠）

- 今後も人口減少は進行**し、令和7年（2025年）には57,201人まで減少する見込み。さらに、令和42年（2060年）には31,823人と対令和2年比で47%減少（▲28,555人）すると予測される。



3. 十和田市が目指す将来の人口

- 自然減対策
 - 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるための施策に取り組むことで、令和22年（2040年）までに市民の**希望出生率※2.08の達成と女性人口の維持**。

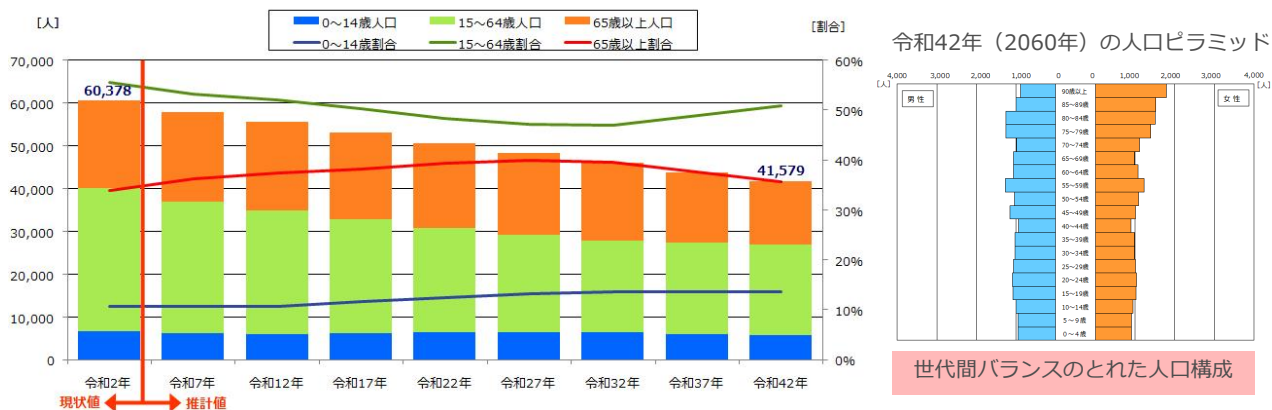
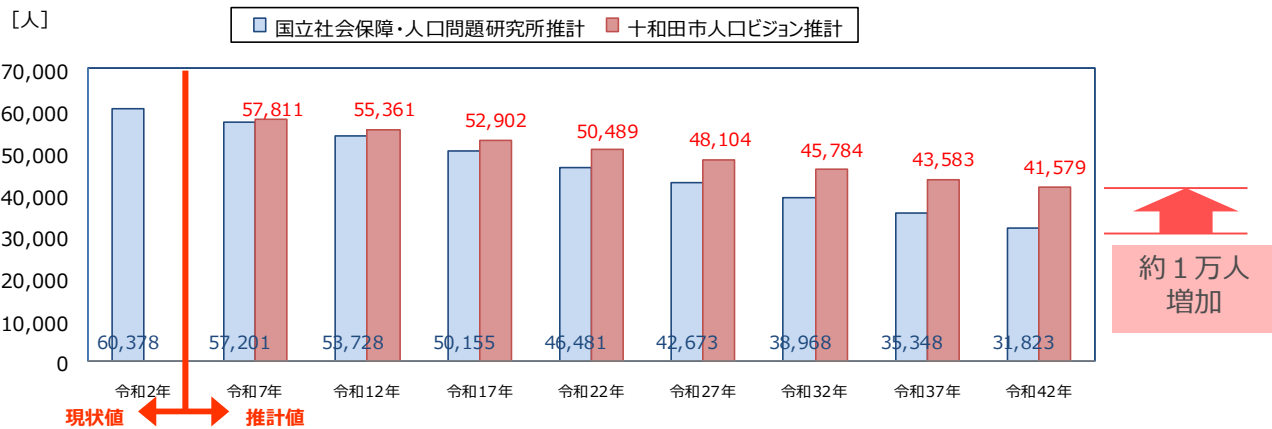
※希望出生率…平成27年に実施した市民アンケートから算出した市民の希望する出生率

	令和2年	目標				
		令和7年	(令和8年)	令和12年	令和17年	令和22年
合計特殊出生率	1.30	1.50	1.66	1.69	1.89	2.08
出生数(人)	327	408	407	404	416	428
対象女性人口(人)	10,387	9,141	8,977	8,322	7,652	7,429

- 社会減対策
 - 移住・定住促進に取り組むことで、令和12年（2030年）までに**社会増減が均衡**。

	令和2年	目標（5年平均）				
		令和7年	(令和8年)	令和12年	令和17年	令和22年
社会増減数(人)	▲185	▲60	0	0	0	0

令和42年（2060年）の十和田市人口約4.2万人



十和田市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略（令和7年改訂案）の概要

人口ビジョン

総合戦略期間（令和2～8年度の7年間）

中長期展望

人口減少問題の克服

◎令和42年（2060年）に 将来人口推計より 約10,000人の人口増

➤令和42年(2060年)人口見通し
41,579人
（国立社会保障・人口問題研究所に
よる将来推計人口：31,823人）

- 「人の流れ」を変え、人口流出に歯止めをかける
 - 若者の流出を止め、呼び戻す
 - 令和12年（2030年）までに社会増減を均衡

- 「出生率向上」のため、阻害要因を取り除く
 - 令和22年(2040年)…2.08を達成（以降は2.08を維持）

- 長期かつ総合的な視点から有効な施策・事業を迅速実施

- 「選択」と「集中」の徹底

- 女性、移住者、高齢者が活躍できる地域社会づくり

共通戦略

基本目標 （◆基本目標K P I）

重要業績評価指標 （K P I）

施策

基本目標1 十和田で“想い”のある仕事を

地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現

- ◆農業産出額
2,442千万円（H29）→2,608千万円
- ◆観光消費額
547億円（H30）→590億円

新規就農支援事業利用者数
14人/年（H30年度）→12人/年

とわだ逸品販売額
1.3億円（H30年度）→2.9億円

創業者数
13人（H30年度）→90人（7年間）

新規求人充足率
23.3%（H30）→25.0%

延べ宿泊者数
327,896人泊（H30年）→310,000人泊

- 農畜産物など高品質なとわだ製品のブランド力の更なる向上
- 産学官金労言士の連携強化などによる産業の創出
- 地域産業の成長・発展
- 観光地域づくりの推進

基本目標2 十和田で豊かな人生を

地域への新しいひとの流れをつくる

- ◆社会増減数
▲125人/年（H30）→0人/年

移住定住事業の利用世帯数
38世帯/年（H30年度）→100世帯/年

転入者に占める若年層（20～39歳）の割合
54.9%（H30）→60.0%

- 移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯等の市内定着促進
- 地域資源を生かした関係人口の創出

基本目標3 十和田ではぐくもう人間愛を

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆合計特殊出生率
1.45（H30）→1.66

婚姻率
3.6（H30）→4.6

こども家庭センターの切れ目のない支援による出産・育児について満足している割合 →97%以上

- 出会い・結婚支援
- 子育て世帯への経済的支援の充実
- 地域における子育て支援体制と子ども教育の充実

基本目標4 十和田で育てよう地域愛を

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- ◆介護保険制度の要支援1・2の方の維持・改善率
90.1%（H30年度）→92.0%
- ◆居住誘導区域内の人口密度
32.6人/ha（H27）→維持

日常生活動作が自立している期間の平均
男性 77.88歳 女性 82.44歳（H28年度）
→男性 78.57歳 女性 83.93歳

市民活動支援事業のうち地域資源を活かし、地域課題に取り組んだ事業数 4事業/年

新たな広域コミュニティ数
4地区（H30年度）→7地区

市街地循環バスの1便当たりの利用者数
2人（H30年度）→8人

- ライフステージに応じた生活習慣の改善
- 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり
- 地域資源を生かした主体的な地域づくりの推進
- 災害に強く犯罪のない、安全・安心なまちづくり
- 快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまちづくり

共通戦略1 多様な人材の活躍する地域社会の推進

共通戦略2 デジタル技術等の未来技術の活用や地方創生SDG sの視点による持続可能なまちづくり

十和田市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略（令和7年改訂案） 基本目標ごとの施策及び基本事業一覧

基本目標1 ～十和田で“想い”のある仕事を～

9基本事業

地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現

【施策1】農畜産物など高品質なとわだ製品のブランド力の更なる向上
①意欲ある担い手の育成・確保 ③とわだ製品の認知度向上及び販売拡大
②生産性及び収益力の向上

【施策2】産学官金労言士の連携強化などによる産業の創出
④商業・サービス業の高度化

【施策3】地域産業の成長・発展
⑤雇用・就労の支援
⑥企業誘致の推進

【施策4】観光地域づくりの推進
⑦多様な主体との連携の強化 ⑨観光資源の整備と充実
⑧観光客の受入体制の充実

基本目標2 ～十和田で豊かな人生を～

5基本事業

地域への新しいひとの流れをつくる

【施策5】移住希望者への支援体制の強化と若者、子育て世帯等の市内定着促進

①移住・定住就農支援 ③交流・定住人口の推進
②U I J ターン就職支援 ④空き家の利活用の支援

【施策6】地域資源を生かした関係人口の創出
⑤関係人口の創出・拡大

基本目標3 ～十和田ではぐくもう人間愛を～

6基本事業

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【施策7】出会い・結婚支援
①民間活動団体等を主体とする仕組みづくり支援

【施策8】子育て世帯への経済的支援の充実と不妊に対する支援
②安心して子どもを産み育てられる環境づくり
③子ども医療費助成支援
④幼児教育・保育の無償化及び保育料の軽減

【施策9】地域における子育て支援体制と子ども教育の充実
⑤子どもが健やかに育つ環境づくり ⑥望ましい教育環境の充実

基本目標4 ～十和田で育てよう地域愛を～

12基本事業

人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【施策10】ライフステージに応じた生活習慣の改善
①生涯にわたる健康の増進 ②疾病予防の充実

【施策11】高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境づくり
③介護予防の推進 ⑤高齢者サービスの充実
④生きがいづくりと社会参加の促進

【施策12】地域資源を生かした主体的な地域づくりの推進
⑥市民活動への支援 ⑧障がい福祉サービスの充実
⑦広域自治組織の育成

【施策13】災害に強く犯罪のない、安全・安心なまちづくり
⑨地域防災力の強化 ⑩事故や犯罪を未然に防ぐ環境整備

【施策14】快適な暮らしや活発な経済活動を支える都市基盤が整ったまちづくり
⑪持続可能な市街地の形成 ⑫ごみの減量化・資源化と再利用の推進

基本目標に資する各分野個別計画等との連携

中心市街地活性化・立地適正化・公共交通網・福祉 等